

最新の祈りの課題と「創造」の奇跡

2009年11月23日

祈りの課題

ベエルシェヴァでの公判

シムカとベラ・ダヴィドヴ

最近イスラエルにおいてイエシュア(イエス)のみ体が成長し、多くのCongregationが設立されるにつれ、イスラエルのメディアは信者に対する不当な、そして法に反するような迫害を報道するようになってきています。最近主要な新聞が反宣教団体であるヤッド・ルアキムについての記事を載せました。このような団体はメシアニックジューをカルトであると定義し、イスラエルの民主主義を悪用して「無実なユダヤ人をキリスト教へと改宗させる」と述べています。彼らは、個人へ嫌がらせをすること、損害を与えるようなポスターを貼ること、仕事を失うぞという電話による脅迫、さらには殺すぞと脅すことなど、必要なあらゆる手段を講じて私たちの合法性にゆさぶりをかけてくるのです。彼らは、ユダヤ人の魂を救っていると思っているのです。メディアは信者に対する反宣教団体の活動を取り上げ始めています。それにはアラドでのメシアニック信者に対する嫌がらせ、アシュドでのペニーナ・パイ屋に対する攻撃、アミエル・オリッツを爆殺しようとする試みなどが含まれます。通常これらの攻撃は警察やメディアは無視してきたものです。

2005年12月24日、ベエルシェヴァ・Congregationに対する反メシアニックの抗議行動が起きました。セファルディック系のチーフ・ラビとヤッド・ルアキムに対して訴訟が起こされました。告訴したのはCongregationのリーダーであるホワード・バス師です。今年の6月10日と21日に公聴会が開かれ、最終公判は2009年11月23日から行われます。

この事件の公判は、現在国を律する法律(憲法は信仰の自由を保障する)に基づいて、ベエルシェヴァやイスラエル全土においてイエシュアへの信仰を信者が表現する正当な権利を主張するものです。

このCongregationのリーダーから、「彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。(ルカ23:34)」というイエシュアの霊において、私たちを迫害する者に対して愛を持って祈って欲しいとお願いされました。宗教的な「反メシアニック」ジューは、自分たちは神のご意思を行っていると思っています。主が彼らの目を開いて下さるようお祈り下さい。神の恵みと愛が、私たちに危害を加えようとする人々に注がれるようお祈り下さい(ローマ12:14)。私たちの格闘は血肉に対するものではなく(エペソ6:12)、霊的な闘いなのです。私たちの魂の敵と闘いイエシュアの御名によって神の民を行かせるように敵に命じるのです！

この公判において真理、正義、そして勝利があるように、イスラエルで福音を述べ伝えることが反宣教団体の活動によって押しとどめられることがないようにお祈り下さい。ベエルシェヴァ・Congregationを弁護して下さるマーヴィン・クレイマー氏とケヴォルク・ナルバンディアン氏を覚えて下さい。そして、この公判に判決を下すイド・ルツィン判事のためにもお祈り下さい。

証

天からの介入・創造の奇跡

タル・ルーベン

10年前ロシアで、ルダと息子のアーサーはシベリアからイルクーツクへ三日間の旅をしていました。この旅の間、アーサーは重い病気になり高い熱が出て、死線をさまよいました。ルダはイエシュア（イエス）の信者ではありませんでしたが、それにもかかわらず彼女はひざまずき、彼女の知らない神に叫びました。彼女が祈っている時救急車が現れて列車と並行して走り、列車は停止しました。救急隊が車両に乗り込んで「病気の男の子はどこですか」と叫びました。誰も答えなかったので、ルダは「ここです！」と答えました。救急隊は彼に注射して、彼らは降りました。列車は再び動き出し走り続け、アーサーは体力が回復し癒されたのです。車掌はルダに、どうやって救急車をここに呼ぶようにしたのか尋ねました。ルダは、自分は何もしていないと答えました！車掌は、見えない誰かが自分の後ろに立って、ルダとアーサーが乗っている車両のある男の子のために列車は止めなければならないと言われたことを話しました。この出来事の結果、ルダは神に自分の人生を明け渡しました。

アーサーが2歳の時、彼は腎臓が一つしかなく、それはひどく損傷し変形していると診断されました。この腎臓は多発性嚢胞腎(注)を発症していることに加えて、萎縮の危険性がありました。ほんの少し前、彼が16歳の時、彼は母と共にイスラエルにやってきました。この旅の目的は損傷した回復の見込みのない、嚢胞に覆われた腎臓を摘出する手術を行うためでした。イスラエルに到着した時、彼らはエルサレムに行って街の東側にあるマアル・アドゥミムに落ち着きました。ルダは地元のCongregationのリーダーであるアブラハム・ベン・ホド師に彼女の証を話し、洗礼を受けられないかと尋ねました。

注：多発性嚢胞腎(たはつせいのうほうじん)腎臓に嚢胞(水がたまった袋)がたくさんできて、腎臓の働きが徐々に低下していく、遺伝性の病気です。日本では難病に指定されています。

アブラハム師と私は、神がアーサーに新しい腎臓を与えるように祈る思いがありました。私たちは同意し神が**新しい腎臓**を創造され、そしてもう一方の損傷した腎臓が奇跡的に癒やされるよう祈りました。

ルダの洗礼式(金曜日)の日、ルダは列車の中でのアーサーの奇跡的な癒やしについて証をしました。洗礼と祈りの後、私は再び、アーサーのための真新しい腎臓が創造されるように祈ることが神のご意思であると感じました。土曜日のマアル・アドゥミム・Congregationでの集会で、私たちは彼のために祈り、彼に油を塗りました。翌日曜日、エイン・ケレム病院で診察されました。最初のCTスキャンの結果、ひどく損傷した腎臓は外科手術によって摘出しなければならないと医師は述べましたが、もう一方の完全に健康な腎臓によって彼は問題なく生活できるだろうと述べたのです。すなわち、神は確かにアーサーに新しい腎臓を創造なさったのです！

損傷した腎臓を「摘出する」手術は8時間かかりました。しかし、医師らは以前「回復の見込みのないほど損傷した」腎臓が、驚いたことに普通の大きさに戻っており、治すことができたのです。最終的にどうなったかと言いますと、**二つの腎臓です！** 祈りの答えは創造の奇跡でした！

アーサーの体で起こったことはすべて診断書に記録されています。